

実施日：2024年 4月 24日

研究テーマ：①スクールソーシャルワークとは？②みんなの知りたいこと・困りごと

A. 児童の背景

- ・不登校に対する事例検討、不登校予防
- ・別室、校内教育支援ルーム
- ・フリースクールとは
- ・外国にルーツがある家庭で起こりやすいこと
- ・虐待、いじめ、DV、
- ・愛着障害、発達障害、
- ・LGBT、離婚、生活保護、生活困窮
- ・デイサービスの内容と自立を意識した関わり
- ・子どものためのシステムや制度を知りたい
- ・療育とセラピーのちがいを

B. ケースの見立て・手立ての作り方

- ・ソーシャルワーク的視点を持つ
- ・ケース会議の進め方
- ・認知行動療法を学ぶ
- ・行動観察のポイント

C. SSWとの連携

- ・スクールソーシャルワーカーとは？
- ・仕事内容や子ども理解のポイント
- ・SSWの活用方法
- ・社会福祉協議会、コミュニティーワーカー、
- ・ケースワーカー、関係機関(少年文化館、
- ・福祉センター、児童相談課とつながる。
- ・大久保クリニックも。

D. 校内体制

- ・*学校の規模であり方が変わる
- ・子どもの情報の記録、積み重ね方
- ・コーディネートする人の役割と動き
- ・SSWに丸投げにならない学校内
- ・連携の在り方

研究会の達成目標：

- ・スクールソーシャルワーカーの視点を持つ
- ・それぞれの困りごとを知り、解決方法の1つとして各校の取り組みを共有する

活動内容

スクールソーシャルワーカーの業務について確認をした。あいまいになりがちであり、学校の実情に合わせて軽重をつけているが、SSWの得意なことを生かせる学校体制づくりが重要である。

①マズローの「人間の欲求の5段階」を利用し、教育も福祉も子どもの自立・自己実現を支えるところにあることを共有した。まず、児童は生理的欲求、安全の欲求が満たされることによって安心できるようになり、落ち着いていけると確認した。

②SSWの得意なところは、アセスメントである。面接での気持ちの引き出す言葉をまとめた。不登校、いじめ、愛着など対応した実績の話共有した。

今後の活動

校内情報共有の方法 ～会議、記録シート、学校の方針を決めるまで～
と題して、正確に、素早く、多面的な除法を共有する各校の方法を確認します。

6月は、模擬ケース会議を企画しています。参加していただき、児童の背景を読み取る流れを確認しましょう。@上野小

